

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

- ・ 校訓「強く、正しく、よく励む」の具現化をめざす。
- ・ 望ましい「かにっこ」像の実現をめざす。
 - か 輝きのある元気な子
 - に にこにここと笑いいっぱいの子
 - っ 突き進む勇気のある子
 - こ 心を込めてあいさつのできる子 そして、なかよく学び合う子

(2) 経営方針

「ちがい」は宝物 ～響かせよう！蟹江のハーモニー～

- ア 生活に響く「ハーモニー」を目指して
- イ 学びに響く「ハーモニー」を目指して
- ウ 教職員が響き合う「ハーモニー」を目指して
- エ 地域・家庭と共に響く「ハーモニー」を目指して

「元気いっぱい、笑顔いっぱい、工夫いっぱい」を目指す子どもと教職員の具体像に掲げ、上記スローガンを具体化したさまざまな方策を通じて、教育目標の実現を図る。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 生活に響く「ハーモニー」を目指して

- (ア) 自他の「いのち」を大切にする意識を育み、ちがいのある「個」を尊重し合う学校づくりを推進する。
- (イ) あいさつ、整理整頓などの「凡事徹底」を大切にすることを通じて、互いのちがいを認め合うための土台を築く学校づくりを推進する。
- (ウ) 男女混合名簿の使用や呼称の統一など、「潜在的差別」を生まない教育環境づくりを推進する。
- (エ) 不登校傾向の児童が、オンラインを活用した学びの機会や校内で心落ち着く生活環境が確保できるよう、多様な居場所づくりを推進する。
- (オ) 異学年間交流やたてわり活動を通じて人とのかかわりや連携・共働への理解を深め、児童を主体とした自治活動の推進に努める。

イ 学びに響く「ハーモニー」を目指して

- (ア) 基礎学力定着週間の実施や、ユニバーサルデザインを心がけた教室環境づくりを通じて、多様な学び方を実現するための基礎・基本を着実に身につける。
- (イ) 「できない」「分からない」を大切にする風土を育み、互いに学び合い、支え合い、高め合う学校・授業づくりを推進する。
- (ウ) ICT やタブレット端末の活用を積極的に進め、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現する授業づくりの研修を深める。
- (エ) 外部諸機関と連携した包括的性教育の実施を目指しつつ、人権教育のさらなる深化を図る。

ウ 教職員が響き合う「ハーモニー」を目指して

- (ア) 子どもたちの「現在」と「未来」の幸せを共に願う教職員集団づくりを推進する。
- (イ) 教職員個々の多様なライフスタイル、ライフステージを尊重し合い、互いに助け合い、支え合う風土の醸成を図る。
- (ウ) 現代的課題を克服するための柔軟性確保やチャレンジ精神を大切にし、「前例踏襲」を打破した業務・授業改善を推進する。
- (エ) 毎月の反省を継続的に実施するなど、教職員間の多様な「声」を生かし、「チーム蟹江」一丸となって学校運営を進める。

エ 地域・家庭と共に響く「ハーモニー」を目指して

- (ア) 学校ホームページや各種たよりの発行による情報発信、ICTの積極的活用、ボランティア活動の推進を通じて、家庭やPTAとの連携を深化する。
- (イ) 出前授業の実施や、かにかっ子みまもり隊との連携など、「地域力」を積極的に生かした学校づくりを推進する。
- (ウ) 「地域防災」の未来の担い手として、「守られる」だけでなく、「守る」ことができる人材の育成を目指した取組を推進する。